

平成27年度全国学力・学習状況調査【調査結果】

－蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部分・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実施状況

- (1) 実施期日 平成27年4月21日(火)
(2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
(3) 調査内容

ア 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

主として「知識」に関する問題(A)

主として「活用」に関する問題(B)

※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	・ 27年度調査の本市の結果は、小学校6年ではほとんどの調査で全国、埼玉県の平均正答率を上回っている。中学校3年では、「国語」では全国の平均正答率とほぼ同じであり、埼玉県の平均正答率を上回っている。「数学」「理科」のほとんどの調査で全国、埼玉県の平均正答率を下回っている。
-------	--

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校6年

(平均正答率 単位%)

	国語		算数		理科
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	
蓮田市	70.4	65.4	75.5	45.1	61.6
埼玉県	68.7	64.2	73.1	43.1	59.2
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8

中学校3年

(平均正答率 単位%)

	国語		数学		理科
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	
蓮田市	75.8	65.9	62.4	40.7	50.8
埼玉県	74.9	64.7	63.2	40.4	51.6
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

【国語A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校6年生 [問題数：14問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。	○ 学習した漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○ 作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ることができる。 ○ 新聞のコラムを読んで、設問に対応するまとめを選択することができる。	● 文の中の主語を捉えることができる。 ● 新聞のコラムを読んで、設問に対応する言葉を書き抜くことができる。
中学校3年生 [問題数：33問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は同じ。	○ インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択することができる。 ○ 書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くことができる。	● 単語の類別について理解している。（品詞） ● 用いられている表現の工夫として適切なものを選択することができる。

【国語B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校6年生 [問題数：9問] □全国の平均正答率と、蓮田市の平均正答率は同じ。	○ 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く。 ○ 登場人物の気持ちの変化を想像しながら読むときの工夫とその理由を書く。	● 文章と図を関係付けて、自分の考えを書く。 ● 目的に応じ、中心となる語や文を捉える。
中学校3年生 [問題数：9問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はほぼ同じ。	○ 文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることができる。 ○ 効果的な資料を作成し、活用して話すことについて理解している。	● 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができる。 ● 文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。

【算数・数学A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校6年生 [問題数：16問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。	○ 加法における計算の確かめの方法を理解している。 ○ 分数÷整数の計算をすることができる。 ○ グラフに表されている事柄を読み取ることができる。	● 示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することができる。 ● 末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができる。
中学校3年生 [問題数：36問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は下回っている。	○ 作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している。 ○ 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。	● 数量の関係を文字式に表すことができる。 ● 与えられた資料から中央値を求めることができる。 ● 文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解している。

【算数・数学B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校6年生 [問題数：13問] □全国の平均正答率と蓮田市の平均正答率はほぼ同じ。	○ 正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる。 ○ 切り上げた場合の見積り結果を基に、目標に達しているかについて判断できる。	● 四捨五入して千の位までのおよその数にして計算することができる。 ● 長方形の面積を2等分する考え方を基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することができる。
中学校3年生 [問題数：15問] □全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は下回っている。	○ 平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確に捉えることができる。 ○ 証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新たにわからることを選ぶことができる。 ○ 問題における考察の対象を明確に捉えることができる。	● 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。 ● 投影距離と投影画面の高さの関係を式で表すことができる。 ● 事象が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。

【理 科】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
小学校 6 年生 [問題数：24問] <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶことができる。 ○ メスシリンドラーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶことができる。 ○ 示された器具の名称を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる。 ● メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶことができる。 ● 顕微鏡の適切な操作方法を選ぶことができる。
中学校 3 年生 [問題数：25問] <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者の考えを検討して改善し、混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる。 ○ 平均値を求める場面において、平均値を求める理由を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善することができる。 ● 日常生活の場面において、音の高さが高くなつたといえる音の波形の特徴を指摘することができる。

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

小学校 6 年生 全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着や国語、算数、理科に対する意識と、教科に関する調査の正答率の間に関連が見られる。 ○ 自己表現（考えや意見を発表することは得意）や住んでいる地域の行事に参加する意識を高める必要がある。 ○ 系統的な生活習慣や学習習慣の定着が大切なポイントであり、学校・家庭・地域社会の連携が今後の鍵である。
具体的傾向 (質問紙の抜粋) 全国平均と比較して ○良好 △課題	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ○毎日、同じくらいの時刻に起きている。 ○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。 ○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。 ○自分には、よいところがあると思う。 △友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。 ○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くこ

	<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢を持っている。 ○家の人と学校での出来事について話をする。 ○家で、自分で計画を立てて勉強している。 ○家で、学校の宿題をする。 ○家で、学校の授業の予習・復習をしている。 ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 △今住んでいる地域の行事に参加している。 ○地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がある。 ○学校のきまりを守っている。 ○人の気持ちが分かる人間になりたい。 ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○人の役に立つ人間になりたいと思っている。 △国語の勉強は好き。 △算数の勉強は好き。 ○理科の勉強は好き。
<p>中学校3年生 全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校と同様に、規則正しい生活習慣や学習習慣と、教科に関する調査の結果の間に大きな関連が認められる。 ○挑戦意識（難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する）、自己肯定感（自分には、よいところがある）、自己表現力（友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意）、住んでいる地域の行事に参加する意識を高める必要がある。 ○系統的な生活習慣や学習習慣の定着を図る取組を始める必要があり、学校・家庭・地域社会の連携が大切である。
<p>具体的傾向 全国平均と比較して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○良好 △課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を毎日食べている。 ○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。 △難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。 △自分には、よいところがあると思う。 △友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。 ○将来の夢や目標を持っている。 ○家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。 △家で、学校の宿題をしている。 ○家で、学校の授業の予習・復習をしている。 ○学校に行くのは楽しいと思う。 ○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。 △今住んでいる地域の行事に参加している。 ○学校の規則を守っている。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 △国語の勉強は好き。 ○読書は好き。 △数学の勉強は好き。 △数学の授業の内容はよく分かる。 △理科の授業は好き。 ○理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。 |
|--|

3 今後の予定

市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。 ○年次研修に加え、2～4年経験者を対象とした若手教員研修を実施し、授業力の向上を図る。 ○国の調査の結果から特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。
各小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。 ○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫を行い、子供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「思考力を育成する授業」を展開する。 ○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。
家庭・地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、わが子の生活習慣（携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等）について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。 ○わが子の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、家庭学習に取り組んでいく。